

令和8年2月16日

滑川町長 大塚 信一 様

滑川町総合振興計画審議会
会 長 小 林 孝 男



第6次滑川町総合振興計画（基本構想・前期基本計画）について（答申）

令和6年11月28日付滑総政第2086号をもって諮問のあった「第6次滑川町総合振興計画（基本構想・前期基本計画）」について、当審議会において慎重に審議した結果、下記の意見を付して答申します。

記

- 1 本計画において定めた将来像「まちづくり ひとづくり 笑顔あふれる滑川町」は、町民意向調査やまちづくり研究会等からいただいた多数のキーワードを参考に、簡潔で分かりやすいフレーズを将来像として定めた。行政と町民が協働してまちづくりに取り組むための合言葉として広く共有し、活用に努められたい。
- 2 全国的に少子高齢化が進む中、本町においても人口増の鈍化が始まっている。社会情勢の変化を的確にとらえながら、人口フレームに掲げた20,000人の維持を目指していただきたい。企業誘致や農業の活性化、担い手の育成、駅周辺を活用したにぎわいづくりなど、次の世代が希望を持ち、住み続けられるまちづくりの推進に努められたい。
- 3 本町が継続的に取り組んできた子育て支援については、今後、少子化の影響やライフスタイルの多様化などに柔軟に対応していく必要がある。家庭や地域と連携し、本町が培ってきた安心して子育てできる環境のさらなる充実に取り組み、住み続けたいくなるまちづくりの推進に努められたい。
- 4 本計画の推進にあたっては、各施策において定めた指標を適切に管理し、PDCAサイクルによる進行管理及び効果検証を行い、改善を図りながら着実に遂行されるよう努められたい。

以 上